

シリーズ 施設紹介

会員が所属する各施設を、順次紹介して頂いているシリーズです。
今回は、小千谷さくら病院を紹介します。

社会福祉法人 長岡福祉協会 小千谷さくら病院 中 島 好 子

看護協会長岡支部の皆様、昨年度から小千谷地域の会員が、ご一緒に活動させていただくことになり、大変嬉しく思っております。合併の際には快くお引き受け頂いた長岡支部役員の方をはじめ、地域会員や施設代表者の方に大変お世話になりました。また、今回は多くの方に当施設の紹介をさせて頂く機会を与えて頂き、感謝申し上げます。

当院は平成13年3月1日に開院し、ベッド数170床（一般110床、療養60床）の神経難病を専門に扱う神経内科の病院で、神経難病の基幹協力病院となっています。入院患者の疾病別分類では、パーキンソン病がおよそ半数を占め、その他筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、オリブ橋小脳萎縮症などの疾患が続きます。

小千谷市の片貝地区に隣接し、敷地内には関連施設の特別養護老人ホーム、ケアハウス、デイサービスセンター、身体障害者通所授産施設、身体障害者福祉ホームがあり、当院を含め一帯を「小千谷福祉タウン」と位置付けています。

当院の理念は、「自分なり家族や友人が利用したい病院づくり」であり、このあるべき姿に向かって看護部では、『神経難病患者が自分らしく生きることを支えます』をテーマに生きている喜び・楽しみを見出す看護を追求しています。

その一つが患者や家族の方にとっての癒しの場となっている屋外庭園です。毎月2回環境美化のための活動を行い、季節毎の花を沢山植えつけ観賞してもらっています。また、介護福祉士の多い当院は、患者のレクリエーション活動にも力を注いでいます。納涼祭や新年会、季節行事などで、普段は食事を食べることが出来ない患者もその日ばかりは特別に医師から許可が出ます。

その時の患者の反応はとて良く笑顔や笑い声があふれ、中には涙を流したりする方もおられ、職員も喜びや感動をもらえるひと時でもあります。



神経内科の病気の多くは難病に位置付けられ、医療・福祉との連携が大切になります。また、入院期間も長期になり、患者も次第に低下するADLと向き合い、自己喪失感にさいなまれ、自己決定が出来ないことも多々あります。

今、地域包括ケアが叫ばれている中で、当院での入院生活は人生の終焉としての場であり、エンドオブライフをどのように支援していくのかがとても重要になります。そして患者を支える家族看護の視点も大切な要素です。患者・家族の『生きる』を支えるため、これからも職員一丸となって取り組んでいきたいと思っています。

今後は長岡支部の一員として、看護の質の向上に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



長期入院患者さんの娘さんの結婚式

三尺玉

新潟県看護協会 長岡支部

第53号 平成28年9月発行

平成28年度新潟県看護協会長岡支部会員数は3,111名です。

(平成28年7月31日現在)

長岡支部副支部長の挨拶



長岡地域振興局健康福祉環境部 前山 佐麻里

この度、新潟県看護協会長岡支部の副支部長をおおせつかりました長岡地域振興局健康福祉環境部の前山佐麻里です。これから、会員の皆様の御支援をいただきながら、支部役員として活動していきたいと思っております。

本県の平成26年の人口10万人当たりの看護職員数は全国平均を上回るものの全国順位28位となっています。今後、高齢化の進展と人口減少が進み、看護職に求められる役割が増え、看護職の働く場所や役割の多様化、業務内容が変化していくことも想定され、多様な場所で働き続けられる人材を確保するとともに、看護職の質の向上を図ることが必要となってきます。

このような状況を踏まえ、支部の活動においても、社会の動向を捉えながら、支部活動が会員の皆様にとって魅力あるもの・役立つものとなるよう努めてまいりたいと考えています。

長岡支部では、通常集会の際の講演会のほか、保健師、助産師、看護師Ⅰ、看護師Ⅱの各職能委員会に分かれて研修会等の実施を予定しておりますので、皆様ぜひ御参加くださるようお願いいたします。

また、昨年に引き続き、地域で開催されます「すこやか・ともしびまつり2016」や「糖尿病を知るつどい」への参加協力を予定しており、看護専門職能団体としての活動を、地域の方々に広く知っていただく機会になるものと考えております。

最後になりましたが、支部活動への取組みにあたり、今後とも会員の皆様の変わらぬ御理解・御協力をいただきますようお願いいたします。



活動内容のご案内



保健師職能委員会

保健師職能委員長 見附市健康福祉課

曾我靖代

保健師職能委員会では、「会員相互の親睦を図り、情報交換を行い、お互いの資質の向上に努める」ことを目的に活動をしています。

今年度から職能委員が4名から3名となりましたが、各所属の現状を出し合いながら、日頃の保健活動につながるような内容を計画しています。

研修会は、先輩保健師からこれまでの保健活動の歩みを講演していただき、これからの保健活動を考える機会となるよう、参加者同士で意見交換を行います。忙しい日頃の業務内ではなかなか聞けない内容です。みんなで学び合いましょう。

●研修会と交流会

日時：平成29年3月

会場：未定

テーマ：「先輩保健師が歩んできた保健活動からの学び・発見」（仮）



助産師職能委員会

助産師職能委員長 立川総合病院

金安恵里佳

昨年度から助産実践能力習熟段階クリニカルラダーレベルⅢの認証申請が始まり、長岡支部からも多くのアドバンス助産師が誕生いたしました。また、昨年度から小千谷支部が統合したことで会員数も増え、さらに助産師内での交流を深めていきたいと考えております。今後も「自律して助産ケアを提供できる助産師」を目標に活動していきます。御協力宜しくお願いいたします。

●研修会

日時：平成28年9月10日（土） 10：00～12：00

会場：長岡中央総合病院 2階 講堂

テーマ：「ヨガでリフレッシュ～誰でも無理なく参加できます～」

講師：杉浦 礼子先生

その他：「すこやか・ともしびまつり2016」への協力
「糖尿病を知るつどい」への協力



すこやか・ともしびまつり2016

日時：平成28年9月17日（土） 10：00～16：00

9月18日（日） 10：00～16：00

会場：アオーレ長岡

糖尿病を知るつどい

日時：平成28年10月1日（土） 12：30～

会場：リリックホール

看護師職能Ⅰ委員会

看護師職能Ⅰ委員長 長岡赤十字病院

目黒信子

平成28年度 看護師職能Ⅰ委員会活動内容

1. 看護師職能委員会の開催

1) 定例会の開催 6回/年

2. 活動内容

1) 講演会の開催

(1) 目的 疲れた心に元気（サプリ）を投入します

(2) 11月25日（金） 14：00～16：00

(3) 会場 長岡赤十字病院 講堂

(4) テーマ 「福をもたらす人との接し方」

(5) 講師 フリー司会業 鈴木進治先生

(6) 募集人数 100人

2) 「すこやか・ともしびまつり2016」及び「糖尿病を知るつどい」への参加と協力

27年度の研修会では、看護師が健康で働けるように“足”に着目したテーマで、足指の変形や歪みを改善することが体に与える影響を知職だけでなく体で実感することができ、大変好評でした。

今年度は、ストレスが多い中で少しでも心元気に過ごせるような企画をご用意いたしました。講師の鈴木進治先生は、司会業30年、なんと3,000組を超える結婚式の他、葬儀やイベントなどの司会をされてきたすごい方です。また新潟お笑い集団NAMARAのゴールド人財エンター“スマイリー鈴木”としてもご活躍で、日野原重明先生の講演会の進行役も務めていらっしゃいます。ラジオにも出演しているので、どこかで聞いた方もいるかもしれません。日々感謝の気持ちを忘れず、笑いやユーモアを大事にしている先生、きっと楽しく元気になるお話が聞けるとおもいます。多数のご参加をお待ちしております。

看護師職能Ⅱ委員会

看護師職能Ⅱ委員長 長岡療育園

加藤美枝子

今年度も看護師以外の職種の方も参加していたりするような研修を企画しております。ご協力をよろしくお願いいたします。

1. 活動目的

1) 看護師職能Ⅱ領域の看護協会入会者の増加に向けた取り組み

2) 働き続けられる職場改善に向けて、意見集約と課題発見を行う

2. 活動内容

1) 研修会の企画・開催・運営
研修会

日時：平成28年10月15日（土）
14：00～16：00

会場：ダイエープロビスフェニックス
プール会議室

テーマ：「頭の整理から始める
悩まない整理収納術」

講師：マイスターライフオーガナイザー
大滝 愛弓 先生

2) 職能代表者会議に参加

3) 地域への貢献活動に参加し支援する

① 「すこやか・ともしびまつり2016」への協力

② 「糖尿病を知るつどい」への協力

4) その他関係機関への参加および協力

